

M.Mabuchi

送信者 : <innovation-policy@meti.go.jp>
宛先 : <undisclosed-recipients:>
送信日時 : 2008年8月28日 13:38
件名 : [work] 技術のおもて側、生活のうら側 産業技術メールマガジン

技術のおもて側、生活のうら側 2008年08月28日 第3号

こんにちは。

このメルマガでは、身近な生活シーンから、社会生活に密着した産業技術を生活者の目線で紹介していきます。私たちの暮らしを支える産業技術を身近に感じて頂ければ幸いです。

今回は、みなさんも毎日必ず目にしている“携帯の文字”について株式会社リムコーポレーションの間淵副社長にお話を伺いました。同氏の趣味の一つはサーフィン。次にくる波を予想してつかむ。そのまんま経営に活かされているように感じました。

フォントエンジンで老後も安心

文字の力は偉大だと思う。想いを伝えることはもちろん、文字のデザインで時代を感じることもできる。

携帯電話を持つ前は、手紙で季節ごとに便せんや切手を変えたりして楽しんでいたが、最近はずっかり電子メールに依存している。その情報の早さと手軽さを武器に、日常の情報伝達手段として確固たる地位を確立した携帯電話。小さな画面に表示された、小さな文字が、情報の伝達士だ。

同じ「文字」であっても携帯電話の文字と紙上の文字とでは使われ方が相当異なる。携帯電話の文字は画面で読むだけで印刷されることはない。そこで、美しい文字を追求することより、いかに読みやすくするか、情報が正しく、早く伝わるか。ここに焦点が絞られ、携帯電話の進化と並行して、文字も人知れず進化してきた。

第2世代。携帯電話はデジタル化され、液晶ディスプレイが搭載され始めた頃。解像度が低かったため、漢字を表現するのが難しかった。ミニチュアサイズの碁盤に碁石を並べて漢字を表現するようなものだ。画数が多い漢字は黒い固まりにしかならない。ここで生まれたのが「線を間引いた漢字」。なんてだいたんな発想なんだろう。漢字の試験だったらまちがいに赤点だ。人間の感性で線を間引くのではなく、人間の感性を元にプログラミングされたソフトウェアで線を間引くことによって、文字の統一感を確保しているのが特徴。

第3世代。液晶の解像度も高くなった。大きな碁盤に、碁石ではなくペンで文字を描けるようになった。文字のデザインをソフトウェアというペンで描く。絵を描くように。組み込まれた小さなフォントエンジンによって、文字の大きさも自由に変えられるようになった。

ここで核となっているのは、文字のデザインとそれを表現するためのフォントエンジンだ。

携帯電話という特殊な環境の中でいかに見やすく、疲れず、情報が的確に伝わるか。そんなユーザーへの心遣いたっぴりなデザインは、

人が目で見てどのように見えるか、目で見てどう頭で思うか、というような認知科学の理論を駆使して開発されている。高齢者視覚ストレスにも配慮された万人にやさしいデザインだ。

そして小さなフォントエンジン。日本語の形に線を描くソフトだ。平面上の、点と点の間を直線で結んだり曲線で結んだり。各ポイント間の距離を計算したりする。モバイルという特性を考慮し、CPUに負担がかからないよう、コンパクトで、容量は軽く、早さも求められる。文字のデータサイズを抑えながら、世代に合った文字サイズを自由に選択できるつわものだ。

そういえば母の携帯を使った時にはびっくりした。異様にデッカイ文字が表示されているのだ。しかもくっきり綺麗な文字で表示されている。

この小さなフォントエンジンは2004年のベンチャーフェアで発表され、第3世代という波をつかんだ。波につっこんでいく勇気とタイミング。「マイクロソフトウエア業界でのリーダーシップをとる」という社名に込められた強固な意志を感じる。

そして携帯電話の文字はさらに進化する。書体も商品のデザインの一つととらえたサービスがはじまり、好みの書体に替えられるようになった。ユーザー側にまた新しい選択権が生まれたのだ。フォントエンジンと、書体のデータが別々にあるから可能なのだそう。実際に替えてみると驚くほど印象がかわる。

手元の携帯電話の文字をさっそくいじってみる。自分の好みの書体で、小さくしても大きくしてもとても綺麗だ。これなら満員電車で後ろから覗きこまれる心配もないし、老後だって心配がない。ますます電子メールに依存してしまいそうだ。

<取材協力> 株式会社リムコーポレーション 間淵雅宏氏

PCからの配信登録・配信中止

http://www.meti.go.jp/policy/economy/gijutsu_kakushin/innovation_policy/m-magazine.htm

携帯からの配信登録

https://www.meti.go.jp/honsho/policy/innovation_policy/merumaga/k_index.html

携帯からの配信中止

https://www.meti.go.jp/honsho/policy/innovation_policy/merumaga/k_kaiyaku.html

記事へのご意見

innovation-policy@meti.go.jp

発行: 経済産業省産業技術政策課

http://www.meti.go.jp/policy/economy/gijutsu_kakushin/innovation_policy/index.html

〒100-8901東京都千代田区霞が関1-3-1

電話: 03-3501-1511(代表)